

県連第12回リハ学会(1/27)を開催しました!

2018年1月27日にホテルパールガーデンにて、第12回香川民医連リハビリテーション部会リハ学会が開催されました。

今年は急性期・回復期・生活期の各視点から11演題が集まりました。今年から勤務扱いとなり、参加人数も70名と多くの参加者が集まりました。各々の視点から活発な質疑応答が飛び交いました。日々の仕事の成果を、このような場で発表することで仕事のやりがいを持つことができ、また、聞き手は、これからの仕事に対して、いい刺激を受けることができます。

来年も、第13回のリハビリテーション部会リハ学会が開催される予定です。毎年、発表したい人を募集



していますので是非発表したいという方は、リハ部会 学術部スタッフまで声を掛けて下さい。学術部のみなさんと良い学会ができるよう、力を合わせて頑張っていきたいと思います。

(高松協同病院通所リハ 畠山大)



憲法9条に関する話題を2題、提供したいと思います。

まずは、フェイスブックで見つけた、「井戸を掘る医師」としてアフガニスタンなどで活躍する、ペシャワール会の中村哲さんの叫びをご紹介します。これ以上、何も説明は要らないと思います。

武器など絶対に使用しないで、平和を具現化する。
それが具体的な形として存在しているのが日本という国の平和憲法、9条ですよ。
それを、現地の人たちも分かってくれているんです。
だから、政府側も反政府側も、タリバンだって我々には手を出さない。むしろ、守ってくれているんです。
9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。
それが、ほんとうの日本の強味なんですよ。



二つ目。これもネットで見つけた、毎日新聞の記事(おそらく、2月17日付に載るのではないでしょう)。題名は『それで何人死んだんだ』が示す冷酷。

1月25日、共産党志位和夫委員長が沖縄での米軍ヘリの墜落事故についての質問中に、松本文明と言う、自民党の国会議員・内閣府副大臣(後に辞任)が、「それで何人死んだんだ」と、野次を飛ばした問題。本土と沖縄の、「温度差と言う名の



無知・無関心

(これは前泊沖縄国際大学教授の言葉)について、福島原発事故も関連付けながら書かれています。機会があったらぜひ一読を。

「何人死んだ」どころか、1972年に日本に復帰以降、沖縄では米軍の航空機事故は500件以上発生し、中には小学校に戦闘機が墜落して一度に10人以上の児童が死亡する事故なども起こっています。さらに例を挙げればきりがありません。実弾演習による山火事も500件以上、米兵による犯罪は5,600件以上(その1割は殺人・強姦などの凶悪犯罪)。これらの沖縄の問題をこの程度にしか考えていない最低の人物たちが、大臣や副大臣に座っている情けなさ。

アメリカの方しか向いていない今の政治ではなく、日本国憲法が生かされる政治を実現したいと、切に願います。

(香川医療生協本部 浦宗宙)

安倍改憲に

物申す



一言